

四国職業能力開発大学校 CAMPUS GUIDE 2027

機械系 / 電気電子系 / 電子情報系 / 居住系



*駐車場も完備しております。

JRでお越しの方

- 高松(予讃線) → 丸亀駅 [約40分]
- 琴平(土讃線) → 丸亀駅 [約23分]
- 岡山(瀬戸大橋線・マリンライナー) → 坂出駅(予讃線) → 丸亀駅 [約55分]

バスでお越しの方 (JR丸亀駅より)

- 丸亀コミュニティバス 垂水線(左回り)・綾歌宇多津線(綾歌保健福祉センター・湯舟道行) → ポリテクカレッジ前下車 徒歩8分

専門課程	応用課程
<ul style="list-style-type: none"> ●生産機械技術科 ●電気エネルギー制御科 ●電子情報技術科 ●住居環境科 	<ul style="list-style-type: none"> ●生産機械システム技術科 ●生産電気システム技術科 ●生産電子情報システム技術科

四国能開大チャンネル動画配信中!

本校の動画チャンネルにて大学校案内やイベント風景などを配信中!
開発課題の制作ドキュメンタリーなども配信しているので
ぜひチェックしてみてください!!

四国能開大チャンネル



Instagram 配信中!

実習やイベントの様子など、大学校の風景をお届けします。
イベント情報も配信! ぜひ、QRコードを読み取ってフォローしてね!!



お問い合わせ先
厚生労働省所管
四国職業能力開発大学校 学務課 TEL(0877)24-6255
〒763-0093 香川県丸亀市郡家町3202番地 FAX(0877)24-6291
<https://www3.jeed.go.jp/kagawa/college/> 四国能開大





ものづくりで未来を拓く。

充実した学びが、実践的なカリキュラムが、
 確実にあなたの未来へつながる！それが四国職業能力開発大学校です。
 地元企業・大手企業への就職実績が多数。進学之道もあります。
 2年間または4年間の学びで、学生寮完備だから、学びやすい！
 ものづくりの醍醐味を味わい、技能・技術を身につける手応えを感じながら、
 一緒に未来へのステップを目指しましょう。

新しい時代の匠を目指すあなたへ

四国職業能力開発大学校 校長
梶島 岳夫
〔大阪大学名誉教授 工学博士〕



CONTENTS

校長あいさつ	…………… P1-2	就職支援	…………… P27-28
6つの特徴	…………… P3-4	修了生・内定者・進学者の声	…………… P29-36
入校から進路まで	…………… P5-6	キャンパスイベント	…………… P37
[学科紹介]		キャンパスMAP	…………… P38
機械系	…………… P7-10	エリアMAP	…………… P39-40
電気電子系	…………… P11-14	学費／寮費	…………… P41-42
電子情報系	…………… P15-18	入試スケジュール	…………… P43-44
居住系	…………… P19-22	オープンキャンパス案内	…………… P45
開発課題	…………… P23-24	Q&A よくある質問	…………… P46
校外活動	…………… P25-26		

社会情勢が大きく変わりつつある現在、日本の製造業は、変化への対応が遅れているとの指摘もあります。しかし、自然環境との調和を保ちつつ、安全で豊かな社会を発展させ、先進国であり続けるためには、日本の選択肢は技術立国の他にありません。今こそ、過去の栄光を象徴する「ものづくり」から、新時代を開拓する「ものづくり」への転換が必要で、その主役となる型破りな技術者が待望されます。

基礎としての型を身につけ、その特色を見極め、新たな型を生み出してゆくのが「型破り」です。そうでない思いつきの工夫は「形無し」と言われます。技術者としての型を身につければ、第一に自信になります。第二に社会で一目置かれます。そして何より、第三に「型破り」を試みることが許されます。

四国職業能力開発大学校(通称 四国ポリテクカレッジ)は、厚生労働省が所管し、全国に10校設置された高度技能者育成施設のひとつです。知識の習得だけでなく、実技に多くの時間を割くカリキュラムを採用しています。

職業能力開発大学校は、経験豊富な指導員による工夫を凝らした少人数指導を特長としています。技術革新に対応できる設備も充実しており、実践的で高度な技能と技術を習得できます。アイデアを形にして機能させる達成感を体験するプロセスを通して、自主的に展開する思考力が養われます。さらに、プロジェクト課題にグループで取り組むことにより、チームワークやコミュニケーションの能力が高まります。また、学生生活のサポートも充実しています。

当校は、長年にわたって多くの優れた実践技能者を産業界に送り出してきました。加えて、在職者に対するセミナーや施設利用の提供、共同・受託研究を通じて、地域の産業界とも密接な連携を継続しています。そして、製造業を中心とする企業からも高い評価を受け、修了生はほぼ100%の就職率を達成しています。

ハイテク社会に新風を巻き起こす「型破りな技術者」を志す皆さん！ その第一歩として、「型」を身につけるために当校のプログラムに奮ってチャレンジしてください。

6つの特徴



ものづくり、私にもできるの？ カリキュラムを知りたいな？
授業で学んだことを実際やってみることはできるの？
入校しても、修了後の就職が不安だな・・・



01

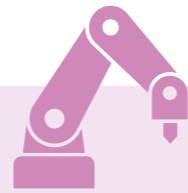
実践的なプログラム



ものづくり企業の設計開発で求められる 理論・技能・技術を有機的に結びつけた実学融合のカリキュラムを採用し、生産現場をけん引できるリーダーの育成を目指しています。教室で学んだ知識を、すぐに実験・実習で体験できる構成となっており、理解を深めながら現場で活かせる実践力を身につけることができます。

02

充実した実習機器・設備



企業の製造・設計現場で実際に使用されているNC工作機械をはじめ、最新鋭の設備を多数導入しています。さらに、パソコンや3次元CADなどのソフトウェアも現場の動向に対応してアップデートしています。学生一人ひとりが専用の端末を使える充実した実習環境を整えており、基盤となる機器は1人1台でじっくり操作でき、大型装置も少人数制で確実に触れられる環境を確保しています。実際の製造現場と同レベルの設備のもと、即戦力として活躍できる人材を育成します。

03

少人数制による細やかな指導



各科20~30名という少人数体制を採用し、約5名の教員が学生一人ひとりを丁寧にサポートしています。担任制を導入しており、授業中の質問や相談がしやすいのはもちろん、個々の理解度や進路希望に合わせた指導が可能のため、学生は安心して学びを深めることができます。こうした 密度の高い指導体制により、技術力だけでなく、社会で求められる主体性やコミュニケーション力も育むことができます。

04

充実した就職支援体制



担任と就職支援アドバイザーが連携し、就職相談やキャリアカウンセリングを継続的に実施しています。学生一人ひとりの進路希望や適性を丁寧に聞き取り、応募企業の選定から書類作成、面接対策まで、段階に応じたきめ細かなサポートを行っています。さらに、企業の人事担当者や修了後に現場で活躍しているOB・OGとの交流の機会を設定しています。書類添削や模擬面接を通して、現場ならではの視点や企業が求める人物像を直接学ぶことができ、就職活動に対する理解がより深まります。こうした 支援体制により、学生が自信をもって就職活動に臨める環境を整えています。

05

自主的な活動の支援



学生一人ひとりが確かな実力を身につけられるよう、技能検定をはじめとした各種国家資格の取得をサポートしています。さらに、「ものづくり競技大会」や各種コンテストに出場する学生の研鑽の場を提供しています。また、地域貢献活動への参加促進など、大学校として多方面から学生の成長を支えています。教室での学びにとどまらず、実社会で活かせる力を養うことを大切に、未来のものづくりを担う人材の育成に力を注いでいます。

06

応用課程への進学への道



専門課程2年+応用課程2年の「2段階制カリキュラム」を採用しており、基礎から応用まで段階的に学びながら確実にスキルを身につけられる仕組みになっています。この制度により、学生は自分の成長や将来の方向性に合わせて、専門課程修了時点で就職するか、さらに高度な技術を磨くために応用課程へ進むかを柔軟に選択することができます。

四国能開大のものづくり 中核人材育成システム

専門課程とは

基礎的な技能・技術から、専門分野に必要な高度な技能・技術までを体系的に習得する2年間の訓練課程です。

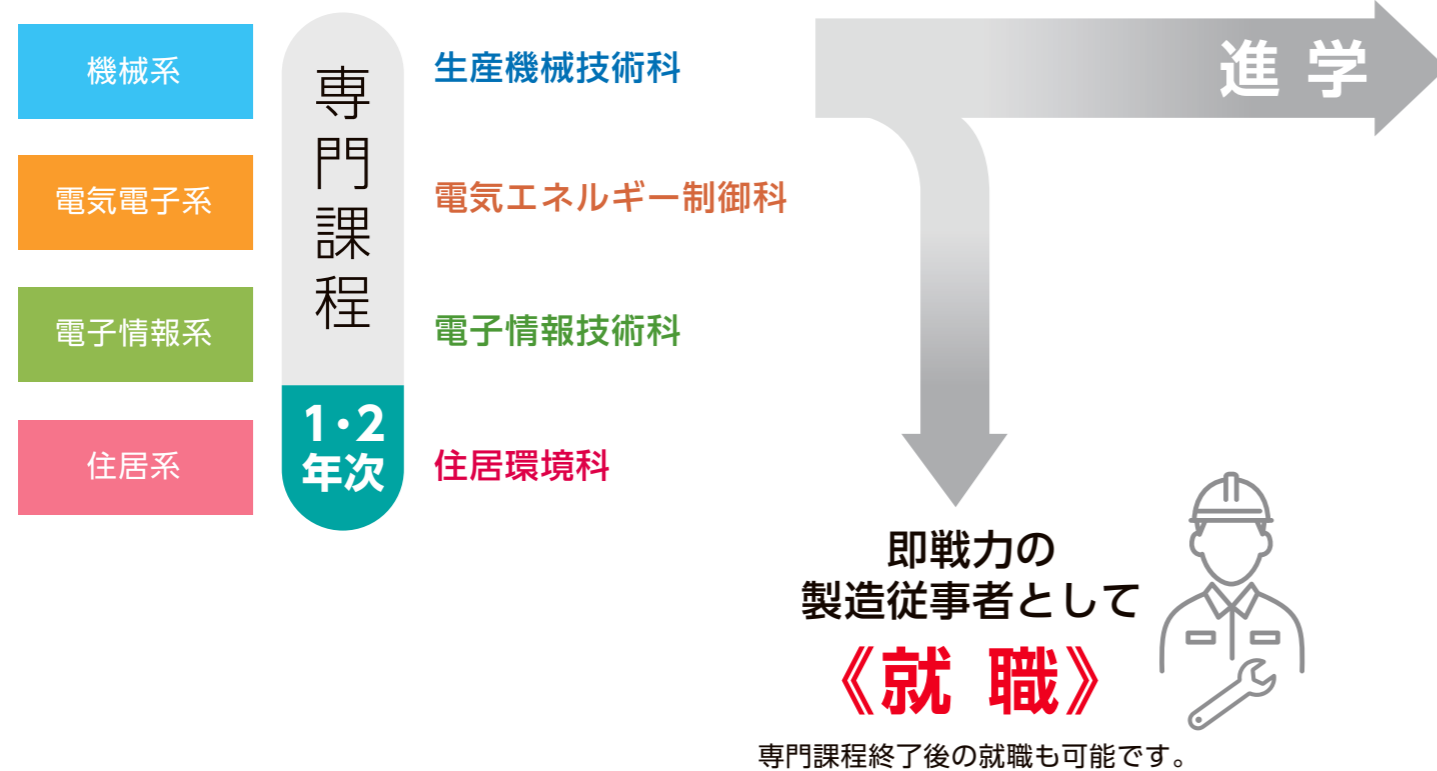
※専門課程修了後、就職又は応用課程へ進学することもできます。

[1年次]

ものづくりに必要な基礎的な理論と基本的な技能・技術を一体的に身につけます。

[2年次]

ものづくりに必要な高度な理論と技能・技術を習得し、生産現場に必要な実践力を身につけます。



応用課程とは

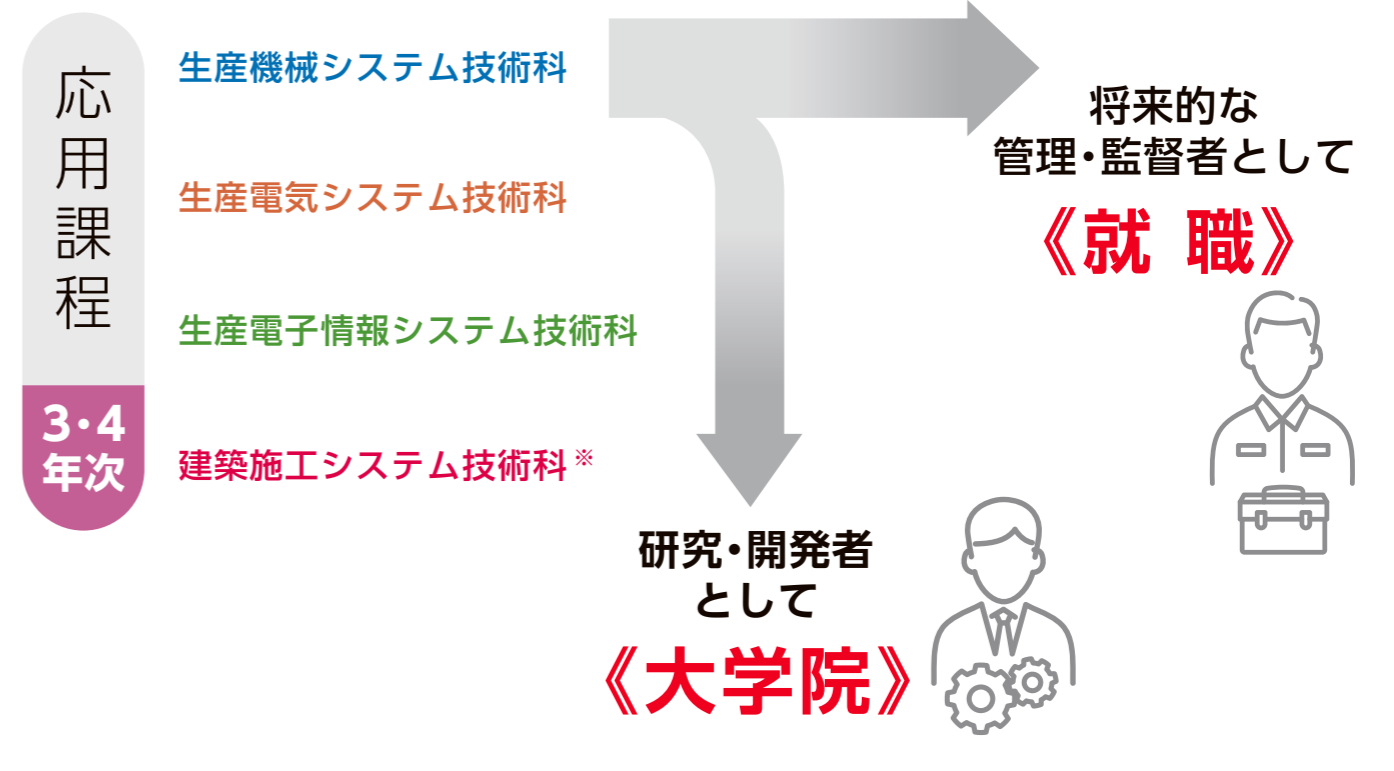
専門課程修了者、または同等の技能と知識を有する方などを対象に、さらに高度な技能・技術や企画開発などを習得する2年間の訓練課程です。

[3年次]

専門分野の技能・技術を高めるとともに、関連する技能・技術を習得し、それらを活用する応用力を身につけます。

[4年次]

ワーキンググループ方式により、生産現場に密着した製品の企画開発から製作までの創造的・実践的なものづくり能力を身につけます。



○応用課程への進学には推薦制度を含め入校試験があります。

○電気電子系と電子情報系に限り、応用課程に進学する場合は系を跨いだ選択が可能となります。

※建築施工システム技術科は他の職業能力開発大学校(九州・近畿等)への進学になります。



機械系 Mechanical System

1・2年次 専門課程 ●生産機械技術科●

3・4年次 応用課程 ●生産機械システム技術科●

ものづくりのプロセスに高い付加価値をもたらす
設計・製造ソリューションとヒューマンスキルを習得します。

私たちの生活はさまざまな「もの」に支えられています。身の回りのさまざまな製品を製作するために必要な技能・技術・知識を習得した機械技術者の育成が求められています。
機械系では、ものづくりに必要な機械工学・設計・加工・計測・制御等の技術を実学一体的に習得します。

取得可能な資格

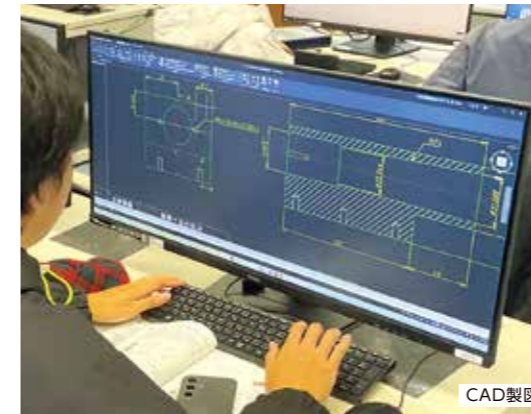
- 技能検定試験(旋盤、フライス盤、数値制御旋盤、機械検査、機械・プラント製図)
- CAD利用技術者試験(2次元、3次元)



ワイヤ放電加工



組立作業



CAD製図



NCプログラミング



のご盤作業

機械系エンジニアの活躍の場

機械設計技術

機械製品を生産するために必要となるメカニズム
3次元CAD、シミュレーションを活用した設計技術
【主な職種】
■産業機械や車両・船舶等のボディを設計する職種

機械加工技術

機械部品を製作する工作機械の操作技術
手動、コンピュータ制御から3次元プリンタによる部品加工技術
【主な職種】
■車両や船舶等の構成部品を製作する職種

機械制御技術

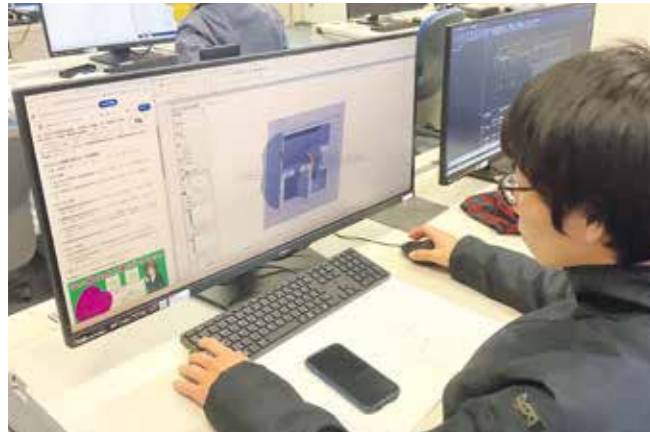
工場内の自動化生産ラインやロボット技術に必要なモータ、
センサの制御技術
【主な職種】
■工場の製造ラインを設計する職種

機械メンテナンス技術

工場内に設置されている機械の運用、保全管理するための技術
【主な職種】
■工場の製造ラインの稼働準備や維持点検をする職種

機械設計

ものづくりに使われる材料の性質やそれを生かした設計方法を学びます。設計する場合も、3次元CADで立体的に設計を行い、パソコン上で変形や運動のシミュレーションを行い、実際の運動を再現し目的の運動特性や設計に反映します。



機械加工

設計された部品や装置を作るために、専用工具、工作機械等を使い素材を加工します。削り取る、磨く、接合するなど様々な方法があり、昔ながらの人の手で操作する機械もありますが、現在はコンピュータ制御で複雑な動きをさせる機械が主流です



【総合制作実習】

■人カポールマシンの製作
授業で得た知識と技能・技術を駆使して、設計・製作までの一連のプロセスを通して、ものづくりに関する集大成となる課題に取り組む実習です。テーマ内容は、実用的な製品を目指したものだけでなく、学生自らが発案したもの、レースや大会を目指したもの、企業との共同研究などから設定しています。



日下 龍来 [徳島県立徳島科学技術高等学校 出身]

- Q1. この大学を選んだ理由は？ 他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？**
高校の時の学校行事でここ(能開大)の講師の方が来てくださって大学の説明をしてくださってもっとレベルの高いところで学びたいと思ってこの大学を選びました。
- Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？**
夏期に行った集中授業です。約2週間で3つの実習をして課題を終わらすのは、高校の時レポートなどを書いたことがなかったので苦労したという意味で印象に残っています。
- Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？**
今まで高校の時は旋盤など機械を扱うときは先生の指示だけでやってきたけどこの大学校に入ってから旋盤の主軸の回転数などを自分たちで求めなきゃいけないので技術者として少し成長したと思います。
- Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？**
高校の時と比べて設備の数や実習場の大きさが全然違って、普通の授業で使用するパソコンなども新しく使えやすくてこの大学校に来てよかったと思います。



開発課題

企業などから課題をいただき、問題を解決しながら電気系・電子情報系と一緒に開発を行います。和紙を利用した蛇腹製本丁合装置を開発しているチームです。



【開発課題】
習得できることやテーマについては、23～24ページをご覧ください。

標準課題

5,6人のチームを組んで、ひとつの課題製作をします。リーダーなどの役割を決め課題に取り組みます。



ロボット機器応用実習

産業用ロボットなどを操作し、実際の生産設備をイメージした自動生産ラインの具体的な構築・運用・管理技術を学びます。



池西 奏哉 [香川県立高松南高等学校 出身]

- Q1. この大学を選んだ理由は？ 他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？**
他の大学と比較して、実際に職場で使用されている機械が多く、設備が充実していて、実習でそれらの設備を利用して現場で必要とされる技能・技術を身に付けることができると思ったからです。
- Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？**
標準課題実習 I が印象に残っている。これまでの課題と比較して、役割分担し複数人で課題をすること、製作物を架空の商品としてユーザーに販売することなど、仕事と同じ感覚で課題に取り組むこととなり、学ぶことも多かったです。
- Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？**
設計、機械加工、測定、組立の技能・技術。グループワークを通しての、コミュニケーション能力です。
- Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？**
実際に職場で使用されている設備が多いので就職のイメージがしやすく、ギャップが少ない点と他の大学と比較して学生に対する教師の方の人数が多いため、関わる機会が多く質問等がしやすい環境である点です。





電気電子系 Electric and Electronic Systems

1・2年次 専門課程 ●電気エネルギー制御科●

3・4年次 応用課程 ●生産電気システム技術科●

みんなの生活と未来のエネルギーを支える
電気スペシャリストを目指します。

私たちの生活に絶対に欠かすことができない「電気」。
現代社会においては、ロボットや自動化機器、電気自動車等の需要が高まり、「電気」の重要性はますます高まっています。電気電子系では、ものづくりや生活基盤に必要な電気工学・設計・施工・計測・制御等の技能・技術を実学一体的に習得します。

取得可能な資格 ■電気主任技術者 ■電気工事士
■技能検定試験(電気系保全作業・シーケンス制御作業)



電動車両走行システム設計製作課題実習



環境エネルギー実験(ヒートポンプ)



太陽光発電実験



自動化システム応用実習

電気電子系エンジニアの活躍の場

電気管理技術

電気設備の施工や管理をするための技術
[主な職種]
■電気設備の電力管理職種 ■施工管理職種

エネルギー管理技術

太陽光や風力を利用した再生可能エネルギーを有効に活用するための管理技術
[主な職種]
■発電設備を管理する職種

電気制御技術

工場内の生産ラインの運用に欠かせないPLC(プログラマブルロジックコントローラ)を利用するための制御技術
[主な職種]
■生産ラインの設計・製作・保守職種

ロボット関連技術

ロボットを活用した生産システムの構築、運用、管理、保守及び改善をするための生産管理技術
[主な職種]
■ロボットを活用した工場内の自動化・省力化装置を提案・設計構築する職種

シーケンス制御実習I

主に工場内機械装置の制御用のコントローラであるPLCへのプログラミング技術を習得します。最終的には実習装置を使用して、PLCに接続されたベルトコンベヤ等の出力機器を制御します。



環境エネルギー実験(風力発電)

風力発電は、自然エネルギーを有効利用した発電方式です。風力発電の特性を理解するため、風速および負荷の間にはどのような関係があるか実験を通して学びます。



【総合制作実習】

授業で得た知識と技能・技術を駆使して、設計・製作までの一連のプロセスを通して、ものづくりに関する集大成となる課題に取り組む実習です。テーマ内容は、実用的な製品を目指したものだけでなく、学生自らが発案したもの、レースや大会を目指したもの、企業との共同研究などから設定しています。



クレーンゲーム機の製作



Ene-1 Challenge



長尾 龍樹 [英明高等学校 出身]

Q1. この大学を選んだ理由は？他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？

自分にとって一番大きな決め手は、将来の安定性でした。AIや自動化が進む中でも、ここで学べる技術は“人の手”が必要とされる分野であり、長く活躍できると感じました。安定したキャリアを築けることも魅力です。また、この大学は“実践力”を重視していて、修了後すぐに現場で通用する力を身につけられると確信しました。

Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？

印象に残っているのは、PLCを使った実習です。自分で考えた通りにプログラムを書き、それが実際に動いた瞬間の達成感は忘れられません。頭の中のアイデアが形になり、機械が動き出す感覚は“ものづくりの醍醐味”だと思います。チームで課題を解決していく過程で、コミュニケーション力の大切さを実感しました。

Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？

仲間と協力して課題を解決する中で、相手の意見を尊重しながら自分の考えを伝える力が強化されたと感じています。また、電気に関する専門知識が大きく深まったことも大きな成長です。座学だけでなく、実際に機器を扱う実習を通じて、理論と現場のつながりを理解できるようになりました。

Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？

電気工士の資格取得に向けた練習環境が充実しているのも大きな魅力です。実際の現場を想定した設備が整っているので、試験対策だけでなく、実務に近いスキルを身につけることができます。そして何より、先生に質問しやすい雰囲気があること。わからないことがあればすぐに相談できるので、安心して学びを深められます。

コンピュータ応用実習

さまざまな装置を制御するために、マイコンは必要不可欠です。マイコンの動作原理を理解し、制御用のプログラミング技術を学びます。太陽電池からの電力を変換する装置や、電気自動車に搭載されたモータを駆動するために利用します。



CAD/CAM応用実習

電子回路設計を行うためのCAD技術を習得します。ソフトウェアで設計支援を行うことで、より確実で効率のよい設計を行うことが可能になります。CADで設計した基板データを用いることで、電子装置に欠くことのできないプリント基板の製作を行います。



ロボット装置設計製作実習

産業用ロボットを用いた生産システムの設計・製作業務に必要な技能・技術について習得します。自動倉庫システムの製作を通して、自動化ラインの制御によく用いられるPLCの活用技術と制御盤の製作技術を学びます。



【開発課題】

習得できることやテーマについては、23～24ページをご覧ください。



和家 幸弘 [愛媛県立八幡浜高等学校 出身]

Q1. この大学を選んだ理由は？他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？

高校の先生から、学費が安く資格なども取れて、4年通えば大学卒と同じ扱いになるからと勧められたからです。

Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？

総合制作実習や発電電力制御システム設計製作課題実習などのグループワークが心に残っています。グループワークでほかの人の考えを聞くことで自分とは違う発想に触れることができるのもものづくりをする際にすごく役立つと感じました。

Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？

コミュニケーション能力や統率力。グループワークのリーダーや自治会長を務めるにあたってみんなをまとめたり、指示やアドバイスをやってきたから身につけてきたと思います。私が学生時代に最も力を入れたことは、自治会長として学祭の運営を改善したこと。新入生の自治会員が戸惑わずに動けるよう、事前の打ち合わせを細かく行い、作業内容の共有や役割ごとのコミュニケーションを丁寧に行いました。結果として、運営体制の混乱が減り、来場者からの評価も高い学祭にすることができました。この経験から、課題を自ら見つけて改善策を実行する力と、周囲を巻き込みながら組織を動かすリーダーシップを身につけました。

Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？

資格取得の際に先生方が放課後や土日でも練習などに付き合ってくださるところや実技の資格に使う工具などを貸し出していたり、練習の際の電線や機器も大学校側が準備してくれるため練習のしやすい環境が整っています。



電子情報系 Electronic Information Control System

- 1・2年次 専門課程 ●電子情報技術科●
- 3・4年次 応用課程 ●生産電子情報システム技術科●

デジタル社会の未来を支えるため、プログラミングや回路設計などの電子情報技術とヒューマンコミュニケーション能力を習得します。

私たちの生活は、日々進化する電子情報通信技術によって支えられています。現在、IoT、AI、ビッグデータ、協働ロボットなどの技術があらゆる場面に広がり、生活や働き方を大きく変えています。電子情報系では、デジタル社会に貢献する技術者を目指し、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術をバランスよく学ぶことができます。

- 取得可能な資格
- 基本情報技術者
 - 応用情報技術者
 - .com Master
 - 技能検定試験(電子機器組立て)



電子情報系エンジニアの活躍の場

ハードウェア設計技術

電子部品を使った組み込み機器、ロボットなどのハードウェアの設計技術(ハードウェア記述言語を用いた高速動作可能なハードウェア設計技術)

- [主な職種]
- 組み込み機器(スマホ、情報端末など)の設計開発職種
 - 産業機器の開発・メンテナンス職種

情報通信ネットワーク運用技術

有線、無線のネットワークを設計し、安定したセキュアなネットワークを運用するための技術

- [主な職種]
- ネットワークシステム設計職種
 - ネットワーク維持管理職種

コンピュータシステムプログラミング技術

システム開発環境の構築や、コンピュータシステム開発に必要なプログラミング技術

- [主な職種]
- システムエンジニア職種
 - プロジェクトマネージャ職種

DX関連技術

IoT、AI、ビッグデータ、ロボットなど、電子情報通信技術を用いた新分野技術

- [主な職種]
- 製造現場のDX関連職種
 - 情報通信業の新分野関連職種

組み込みプログラミング

スマートフォンや家電製品の基本となるプログラムの技術を習得します。「AIやIoT、ロボットなども勉強できるよ!!」



電子回路

電子回路の設計・製作の基本的な技術を習得します。「自分で設計・製作した電子回路基板でロボットを動かすよ!!」



【総合制作実習】

2年間で習得した電子技術、情報技術、通信技術の3つの柱を活用して、集大成となる修了制作を行います。若年者ものづくり競技大会などに挑戦できる態勢があり、11年連続入賞をしています。

開発した学生のコメント

1年次から興味を持ち続けてきたAI分野に、本格的に挑戦した1年間でした。試行錯誤の連続でしたが、その積み重ねが最優秀賞受賞という成果につながり、大きな自信となりました。丁寧に指導くださった先生には、学びを深めながら成長できたことに心から感謝しています。



第29回ポリテクビジョン最優秀作品
物体検出アルゴリズムを利用した
追従ロボットの開発



若年者ものづくり競技大会への挑戦(3職種)

電子情報系標準課題

組み込みシステム構築課題実習と電子通信機器設計製作課題実習の2つの課題をグループで行う課題学習形式で取り組みます。専門的な技術やコミュニケーション能力も身につきます。



IoT・AIリテラシー実習、電子情報ゼミ

これからのエンジニアとして歩いていくためには、AIなどの新しい技術も勉強しておく必要があります。難しい技術分野も、グループだと乗り越えられます。



キャリア形成論

社会人になった時、役立つキャリア形成に関する教科もあります。自分たちの実習の取り組みを、専門的な技能や技術、ヒューマンスキルの面から仲間と分析し、将来の自分の進路の参考にします。



【開発課題】

習得できることやテーマについては、23~24ページをご覧ください。

松本 莉矩

〔愛媛県立新居浜西高等学校 出身〕

- Q1. この大学を選んだ理由は？ 他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？**
昔からゲームが好きで、いつか自分の手でゲームなどのものづくりをしたいと思っていました。そこで、近くでプログラミングを学べる学校を探していて、経済的にも優しく、就職に有利と聞き、本校を選択しました。
- Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？**
特に印象に残っている授業は「デジタル回路実習」です。私は入学してからソフトウェア関連のことにしか興味を持っていなかったのですが、この授業を通して、回路の設計・製作などを行い、何度も試行錯誤して、想定通りに動作した時のハードウェア関連の楽しさについて知ることができました。
- Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？**
普通科の高校から進学で、入学当初は専門的なことが全く分からない状態でしたが、大学校の授業・実習を通してC言語を使って簡単なプログラムを作成したり、設計図を見て、一から回路を製作できる技術力が身につきました。
- Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？**
一クラスの人数が少ないため、先生方がその学生の理解度に応じて個別にサポートしてくれる点と授業が実践的で知識としてだけでなく実際に使える能力として、技術を身につけられる点が非常に良かったです。



澤田 爽汰

〔香川県立高松工芸高等学校 出身〕

- Q1. この大学を選んだ理由は？ 他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？**
安定化電源やオシロスコープなど一人一台使える環境が整っているので、理論だけでなく実際の動作についても学ぶことができ、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークについて幅広く、実機を使いながら、実践的に学ぶことができるからです。
- Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？**
若年者ものづくり競技大会「ITネットワークシステム管理」に出場し銅賞をとれたこと。技能五輪全国大会「電子機器組立て」での回路設計でよい結果だったことです。あと、マイコンや回路を、自身の設計どおりに動かせたとき達成感を感じられるので、フィルタ回路やC言語プログラミングなどの実習が印象に残っています。
- Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？**
フィルタ回路やC言語プログラミングなど思うように動作させられないときも、粘り強く原因を切り分けて考える思考力が身についたと思います。
- Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？**
放課後などに実習での回路設計など思いついたことをすぐに実践し結果を確認できること、パソコンが一人一台あり、安定化電源やオシロスコープなどの実習機器が充実しているところです。





居住系 Architect System

1・2年次 専門課程 ●住居環境科●

安心・安全・わかりやすい建築物やインテリア空間に関する
計画、設計、施工、施工管理を実践的に学び、
「私ならできる」建築技術者を目指します。

「建築は空間に表現された時代の意思である」と建築家の巨匠は語る。建築物には、その時代が要求する機能を満たし、安全性を担保し、美であることを求められる。よって学問の領域は広く、様々な知見を深めることは必然である。居住系では、建築について講義だけでなく、設計・施工・実験実習を通じて、実践力と論理的思考力を磨きます。

取得可能な資格

- 建築士
- 施工管理技士
- 技能士
- インテリアコーディネーター



建築施工実習



実習前の安全ミーティング



木造建築の施工実習



測量実習

居住系エンジニアの活躍の場

建築設計技術

住宅や公共施設などを安全で安心して利用できるように計画し、その設計図を作成するための基礎知識と技術を学びます。あわせて、3Dモデリングや建築模型の製作を通して、設計内容を分かりやすく伝えるプレゼンテーション技術を習得します。

【主な職種】

- 建築設計職種、企画・営業・販売職種

建築施工技術

建築施工では、建物を実際につくるための構法や手順、建築材料の使い方について学びます。実習を通して、木材やコンクリート、鋼材などの特性を理解し、正確で安全な作業を行うための基礎技術と実践力を習得します。

【主な職種】

- 建築構造設計職種

建築施工管理技術

施工管理技術では、建物を安全で品質の高いものとして完成させるための知識と技術を学びます。実習を通じて、計画どおりに工事を進めるための知識と現場で必要とされる責任感やコミュニケーション力も養います。

【主な職種】

- 建築施工管理職種、現場代理人

建築構造

建築構造では、建物を安全に支えるための仕組みや構造形式について学びます。木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の特徴を理解し、地震や風などの力に耐える、安心して利用できる建物の基礎知識を習得します。

【主な職種】

- 建築施工職種(大工、内装、外装、設備等)

【総合制作実習】

■木造耐力壁の加算則モデルに関する実大実験の検証と公開実験の効果の検証

少人数のグループで、修得した知識や技能を活かして調査や実験、設計や制作、または全国規模で開催される各種技大会の出場を目標とするテーマを設定します。主体的に課題を発見し、達成感を得る過程で、創造力、発信力、伝達力を養い、建築技術者として総合力を高めます。



環境工学実験

居住空間には、安全性や耐久性とともに、住みやすさ、心地良さ、環境との調和などを考慮した複合的な機能が要求されます。室内外の光・熱・音など、基本的な環境要素の理解を深め、自然エネルギーの活用動向も視野に入れた環境配慮型の設計を考えます。



建築設計実習

建築の目的を達成するため、敷地条件や周辺環境を十分に理解し、建築物の規模や用途に応じて材料や構法を決定するまで総合的な技術を学びます。設計の最適化から顧客とのコミュニケーションに至るまで、デジタル技術を駆使した実習を行います。



建築施工実習

施工規則や安全衛生を十分に理解した上で、木造や鉄筋コンクリート造に関する施工図の作成、工具の使用手法を取得します。加工や組み立ての各種工事に関しては実大スケールで実習を行い、設計・施工・現場管理の一連の流れを実践的に体験できます。



建築材料実験、建築構造実験

建築物は完成したその日から経年劣化や災害による破損と向き合う宿命があります。機能や美観を維持しつつ強靱な建築のため、材料や構法、工法の選択にあたり実験実習をとおして必要な材料の物性や力学的特性の知識を深めます。



大山 ころろ [徳島県立脇町高等学校 出身]

Q1. この大学校を選んだ理由は？ 他の学校や進路と比べて、どこが決め手になったか？

国公立大学を受験しましたが合格に至りませんでした。建築学科で建築設計を学びたかったので進学しました。立地・学費などを含め検討し、入校を決めました。

Q2. 在学中に特に印象に残っている授業や実習は？

後期になり、少しずつ専門分野に学び始めたところです。建築に関する興味が意匠設計だけでなく、数学・物理の分野を活かすことができる建築構造の分野も気になっています。

Q3. 大学校生活で身についた力や成長した点は？

同級生にテスト勉強に関する内容を教える機会が増えました。教えることが楽しく、さらに教えることが学ぶ有用な手段であると感じました。

Q4. 大学校の設備や環境で「ここが良かった」と思う点は？

PC環境等の設備に満足しています。今後の目標として、専門課程修了後、応用課程に進学を希望しています。「気づくために学ぶ。そして見極める・決める」大切にしていきます。

他の職業能力開発
大学校応用課程への
進学が可能です。



応用課程(建築施工システム技術科)では、建築物を建設するために必要な構造や施工方法を学び、実際に建築物を建てる実習を通して実践的な施工と施工管理技術を学びます。(写真は近畿校)

開発課題とは・・・

開発課題とは、応用課程4年次で実施する企業の生産現場での課題を、異なる3科の学生でグループを構成し、各科の専門性を発揮することで、生産現場の課題を解決する装置を試作するプロジェクトです。

プロジェクトの狙いは「ものづくり」に関する企画・設計・製作のプロセスから、技術・技能を応用する能力、問題解決力、工程管理能力等の他、異なる科のメンバーとミーティングや発表等の共同作業により、チームワーク力、コミュニケーション力等を身に付けることです。

そのため、カリキュラムは、生産現場に密着した依頼や共同研究で得られたノウハウ、技術要素を実習課題に取り入れるなど、実務に即した実践的技術を習得するように編成しています。

3つの分野が連携

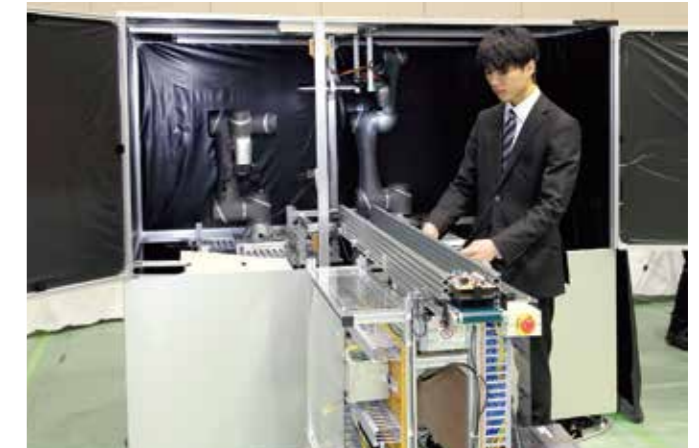


実践力の習得

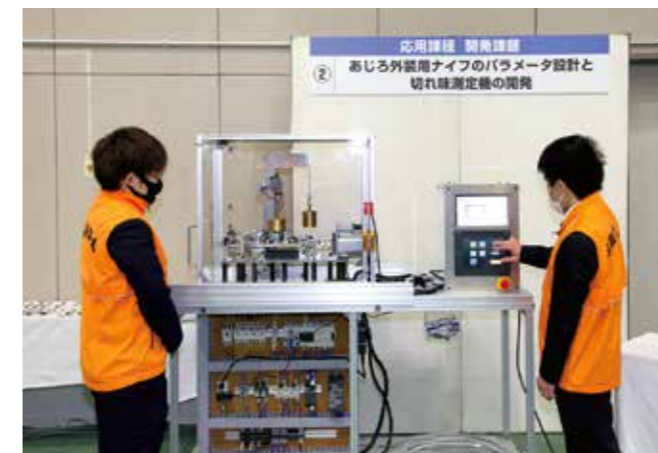


令和7年度開発課題のテーマ一覧

① デジタル技術を用いた基板検査装置の開発



② あじろ外装用ナイフのパラメータ設計と切れ味測定機の開発



③ ルミラーフィルム定寸カット装置の開発



④ 和紙を使用した自動蛇腹製本丁合装置の開発



⑤ 遠隔操作電気自動車の開発



CHALLENGE 四国能開大の挑戦!



技能五輪全国大会

青年技能者(原則23歳以下)を対象とした全国大会の最も出場者が多い職種にて、多くの企業の方が参加する中、学生が入賞する快挙を成し遂げました。

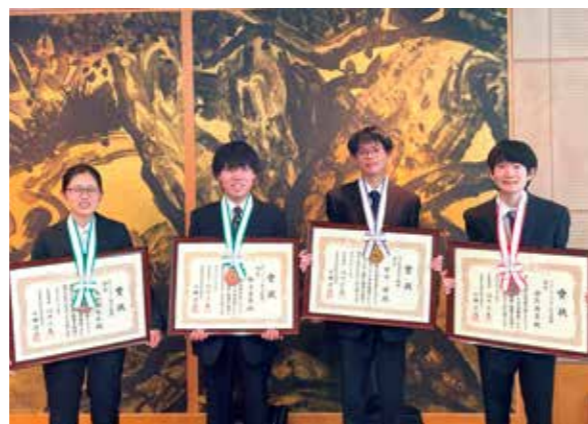
- 2025年度 63回大会(愛知県) 2名出場
- 2024年度 62回大会(愛知県) 2名出場
【敢闘賞】「電子機器組立て」職種 2名出場
- 2023年度 61回大会(愛知県) 2名出場
【敢闘賞】「電子機器組立て」職種 2名出場



若年者ものづくり競技大会

若年者(原則20歳以下の未就職者)を対象とした全国大会において、毎年多くの職種に出場し、次のような成績を収めています。

- 2025年度 20回大会(香川県)
【金賞】「電子回路組立て」職種
【銀賞】「ITネットワークシステム管理」職種
【銅賞】「ロボットソフト組込み」職種
- 2024年度 19回大会(群馬県)
【銀賞】「電子回路組立て」職種
【銅賞】「ITネットワークシステム管理」職種
- 2023年度 18回大会(静岡県)
【金賞】「電子回路組立て」職種
【銀賞】「ITネットワークシステム管理」職種



ETロボコン

Embedded Technology(組込み)技術を重視したロボットコンテストで、企業・学校が混在して参加する中、以下の成績を収めて全国大会に出場しました。

- 2025年度 中四国地区大会 プライマリークラス
モデル審査部門 【Silver Model】
- 2024年度 中四国地区大会 プライマリークラス
【総合優勝】競技部門 優勝、モデル審査部門 Gold Model
【中国経済産業局長賞】
- 2023年度 中四国地区大会 プライマリークラス
【総合優勝】競技部門 優勝、モデル審査部門 Gold Model
【中国経済産業局長賞】



様々な大会での輝かしい結果や地域貢献など学生たちの「校外活動」を紹介します。

2025 Ene-1 SUZUKA Challenge KV-40 大学・高専・専門学校部門 出場!

2025年12月21日(日)に三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで省エネレースである2025 Ene-1 SUZUKA Challengeが開催されました。この大会は、充電式単3電池40本を動力源とする車両で鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807km)のタイムアタックを3回行い、その合計タイムを競います。自己記録更新と入賞を目指し頑張っています。



令和6年度 壁-1グランプリ2024 加工・施工部門賞受賞!

木造耐力壁の強さや耐震性、施工性、デザイン性、環境性などを競う大会にて、能開大のほか、各企業や大学、専門学校などが参加する中、加工・施工部門1位で入賞する快挙を成し遂げました。

- 2024年度 第7回大会(埼玉県)
【施工・部門賞】



丸亀城、丸亀駅イルミネーションの制作 地域貢献

地域に開かれた大学として丸亀市内のイベントでイルミネーションのデザイン制作に積極的に参加しております。丸亀城内のキャスルロードや丸亀駅前にてイルミネーションの装飾を行い、幻想的な光の演出で訪れた人々を楽しませました。

- 2025年度点灯期間
2025年10月4日~2026年2月1日



産学官で未来を動かす! 笠島まちづくりプロジェクト

丸亀市本島町笠島の歴史的町並みを舞台に、行政・大学・NPO・企業と連携した実践的なまちづくり活動を展開しています。建物調査や地域イベントの運営、BIMデータや模型制作、移住者向けガイドブックづくりなど、多様なプロジェクトを通して地域課題の解決に挑戦。学生は実社会とつながりながら、建築・住環境の専門性を深める学びを実現しています。

- 行政 ●丸亀市
- 大学 ●本校と香川大学
- NPO ●NPO法人香川歴史的建造物保存活用会議
NPO法人本島町笠島まち並保存協力会
- 企業 ●株式会社まつもとコーポレーション(修了生就職企業) 他



充実した 就職支援

令和6年度
実績
就職率

100%

2年連続就職率100%達成!

四国能開大では、各科担任と就職支援アドバイザーが連携して、学生一人ひとりの適性に合わせた就職活動をサポートします。四国能開大を修了した学生は、各企業から即戦力として高く評価されており、ものづくり企業の最前線で活躍しています。

就職ガイダンス

専門課程1年次の「キャリア形成概論」、応用課程3年次の「キャリアデザイン」(各18回実施)では、就職活動を円滑に進められるように準備を進めます。

個別キャリアサポート

個別面談

担任の先生を中心に、就職支援アドバイザーと連携し、学生の希望や適性、現状の課題などを確認することで、安心して就職活動に取り組めるよう支援することを目的としています。

進路相談

学生がどのような職種・業界に興味を持っているのか、将来どのように働きたいのか等一人ひとりの学生に合った進路を共に考えます。相談では、興味や職業理解のサポートに加えて、企業選びのポイントや就職活動の進め方、今の段階で準備しておくべきことなど、実践的なアドバイスも行います。必要に応じて、求人情報の紹介や応募書類のアドバイスなど、具体的な支援も提供します。

応募書類作成支援

自己分析や業界研究を通じて、履歴書・エントリーシートの作成支援に繋がります。

面接指導

担任の先生を中心に基本的な受け答えの仕方やマナーだけでなく、自己アピールの内容や話し方、表情の使い方など、面接で評価されるポイント、学生が自身では気づきにくいクセや改善点を具体的にフィードバックし丁寧に指導します。また、希望業界や職種に合わせた質問の対策や、想定されるシチュエーションへの対応方法など、より実践的な練習も行います。

授業を通してのサポート

企業見学会バスツアー

各系で年間に数回、企業見学会バスツアーを実施しています。現場ならではの設備、作業の流れ、働く人たちの姿などを間近で体験することで、将来どのように働きたいかを具体的にイメージできるようになることを目的としています。

中小企業家交流会

社長、管理職、社員を招き、業界問わず就職後のビジョンについて学びます。

ビジネスマナー講習

1年次の10月に実施します。身だしなみや挨拶をはじめとする社会人としてのビジネスの基本を学びます。

業界研究セミナー

企業の方を講師に招き、各業界の特徴や展望、実際の仕事内容や求める人材について学びます。

合同企業懇談会

毎年30社前後の企業を招き、ブース形式で実施します。企業の人事・採用担当者とは直接話をすることがあります。

インターンシップ

実際の職場体験を通じて企業や仕事に対する理解、就職の方向性や適正を知ることで、就職時のミスマッチを防ぐことができます。

ジョブ・カード作成支援

ジョブ・カードを利用したキャリアプランニングを作成し、将来のキャリア形成に役立てます。また、履歴書等の応募書類作成にも活用します。

主な就職・進路実績 (過去3年間)

機械系

■ 専門課程 生産機械技術科 ※2023年～2025年3月修了生実績(就職者11名/応用課程進学者36名)

- 川田工業株式会社
- 徳島機工株式会社
- 住友金属エンジニアリング株式会社
- 株式会社タダノアイレック
- ダイキン工業株式会社
- ほか

■ 応用課程 生産機械システム技術科

- フジタ自動車工業株式会社
- 株式会社タダノアイレック
- 日鉄テックスエンジ株式会社
- 四国計測工業株式会社
- 四国旅客鉄道株式会社
- ダイキン工業株式会社
- 株式会社タダノ
- 株式会社四電工
- 株式会社牧野フライス製作所
- 株式会社石垣
- 今治造船株式会社
- 株式会社ジェイテクト
- カトーレック株式会社
- 日亜化学工業株式会社
- 三井造船特機エンジニアリング株式会社
- ほか

[進路先] 大分大学大学院工学研究科

電気電子系

■ 専門課程 電気エネルギー制御科 ※2023年～2025年3月修了生実績(就職者7名/応用課程進学者44名)

- 株式会社エイジェック
- 丸善織物工業株式会社
- 株式会社レクザム
- 日本電設工業株式会社
- 株式会社四電工
- ほか

■ 応用課程 生産電気システム技術科

- 四電エンジニアリング株式会社
- 株式会社ヒカリ
- 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
- 株式会社WaveEnergy
- 四国化工機株式会社
- 株式会社ジェイテクト
- 四国計測工業株式会社
- ダイキン工業株式会社
- JFEスチール株式会社西日本製鉄所
- 四国旅客鉄道株式会社
- 株式会社岡山村田製作所
- J-POWERジェネレーションサービス株式会社
- ダイオーエンジニアリング株式会社
- ENEOS株式会社
- 一般社団法人中国電気保安協会
- ほか

電子情報系

■ 専門課程 電子情報技術科 ※2023年～2025年3月修了生実績(就職者6名/応用課程進学者46名)

- 株式会社イーガー
- 株式会社ソフィア
- 株式会社プレックス
- 株式会社きんでん
- ダイキン工業株式会社
- ほか

■ 応用課程 生産電子情報システム技術科

- 株式会社レクザム
- タツモ株式会社
- 株式会社STNet
- ローランド ディー・ジー 株式会社
- 三菱電機システムサービス株式会社
- 四国計測工業株式会社
- アライドテレシス株式会社
- タカヤ株式会社
- 四国情報管理センター株式会社
- 株式会社四電工
- 株式会社パップアロー
- 東芝情報システム株式会社
- 株式会社百十四システムサービス
- 株式会社両備システムズ
- ほか

居住系

■ 専門課程 住居環境科 ※2023年～2025年3月修了生実績(就職者37名/応用課程進学者18名)

- 株式会社穴吹工務店
- 株式会社菅組
- 四国旅客鉄道株式会社
- 株式会社ティティアール設計
- 谷口建設興業株式会社
- ほか

[進路先] 関東職業能力開発大学校、近畿職業能力開発大学校、九州職業能力開発大学校

修了生インタビュー

機械系



就職先

株式会社イング
〒763-0013 香川県三豊市高瀬町下麻1064-1 TEL 0875-74-6831

最新テクノロジーと職人技術の融合

精密板金加工を行う上で必要な知識、経験を兼ね揃えた職人を育成すると同時に、積極的に最新設備を取り入れて事業を行っております。職人の知識、経験とテクノロジーを融合させる事によって、技術力の高い製品を「高品質」「短納期」「低価格」に納め、お客様に満足して頂ける様尽力しております。

西岡工場 製造1G

田部 元基 さん 専門課程生産機械技術科 令和2年度修了 (香川県立高瀬高等学校出身)

板金加工に興味を持ったのは、カヌー競技に熱中していた高校時代。知り合いの板金工場でカヌーの部品を修理しているのを見て、自分で直せたら面白いなと思いました。四国職業能力開発大学校は、機械操作や数値制御など現場で必要となる実践的な授業が多かったです。先生の分かりやすく丁寧な指導のおかげで、即戦力として働ける知識と技術を身に付けることができました。

弊社は、大型クレーンやアスファルトフィニッシャーなどの建設機械部品やボイラーの部品などを製造しています。私は、レーザー加工機とタレットパンチプレスやプレスブレーキを操作し、部品の抜きと曲げの作業を担当しています。入社を決め手は、関連会社で働く地元の先輩から「働きやすくていい会社だよ」と勧められたことと、実家から近かったこと。先輩が言った通り、現場の雰囲気は良く、上司や同僚も優しい人ばかりです。

今は、タレットパンチプレスの技能検定とプログラミングに挑戦しています。仕事も一人で任されるまでになりました。次の課題はトラブルの対処法。機械トラブルの原因を自分で理解し、一人でも対処できるような知識と技術を身に付けていきたいです。

修了生の活躍事例はこちらから ▶

電気
電子系

就職先

株式会社サンキ
〒761-8582 香川県高松市郷東町468番地1 TEL 087-882-2121

「つなぐ」を超える

当社はまちに暮らす人や働く人がより快適に暮らせる社会の実現を目指しています。わたしたちが活躍する領域は工場や商業ビルなどの大型施設から公共施設や店舗・住宅まで、まち全体にわたります。さまざまな分野における多種多様なニーズにお応えするために、迅速に対応できる総合力を構築。設備設計・販売・施工・アフターメンテナンスまでトータルサポートで持続可能な社会づくりに貢献しています。

産業システム営業本部 産業エンジニアリング部 サービスエンジニアリング課

宮本 将平 さん 専門課程電気エネルギー制御科 平成30年度修了 (香川県立津田高等学校出身)

私の部署は、コンプレッサーやクレーンなどの産業機械の補修、定期メンテナンスを行っています。お客様によって機械の稼働回数は異なりますが、現場の安全・安心を守るためには定期的な整備が欠かせません。故障やトラブルの際は、急ぎで対応することもあります。以前に、修理に必要な部品がすぐに手配できず、愛媛県まで取りに入った時は、お客様からとても感謝され、この仕事のやりがいを感じました。

3歳の時から機械が好きで、いつもラジカセを触っていました。高校生になると興味は好奇心へと変わり、中古のラジカセを購入しては分解していました。四国職業能力開発大学校への進学を決め手は、実践を重視した授業内容と就職率の良さ。今の仕事は第2種電気工事士の資格が必須でしたので、学生時代に取得しておいて良かったです。

4年前に新社屋が完成し、新しい職場で楽しく働いています。資格取得に必要な費用も会社が負担してくれるので、働きながらスキルアップできる最高の環境です。社会人になって6年。これからも向上心を忘れず、お客様から信頼される技術者になりたいです。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



機械系



就職先

株式会社タダノ
〒761-0185 香川県高松市新田町甲34番地 TEL 087-839-5525

世界のインフラづくりを支えるクレーンメーカー

日本で初めて油圧式クレーンを開発、建設用クレーンの分野では国内トップシェア。海外の業界をもリードするグローバルなネットワークを確立してきました。当社のコア技術を活かすLifting Equipment (抗重力・空間作業機械) という事業領域を新たに定め、LE事業世界ナンバーワンを目指しています。

試験研究部 LE試験第1ユニット

田内 亮太 さん 応用課程生産機械システム技術科 平成30年度修了 (高知県立高知追手前高等学校出身)

高校の時から自動車やものづくりが好きで、大学校では設計から加工、組立までの一連の流れを学ぶとともに、機械製図3級、機械検査3級、機械加工旋盤2級などを取得。学生時代、積極的にいろんなことにチャレンジしてきたおかげで、実務に入っても先輩や上司の言うことがわかりやすく、社会人としてゼロからのスタートではなかったなと思います。

当社の魅力は、大型自動車、それも建設機械として社会に貢献するものづくりを手掛けること。私は新規開発車両の試験担当として、さまざまな基準に基づく試験評価と分析を行っています。開発の最終段階に当たる重要な業務であり、重量物を扱うため安全管理も欠かせず集中力が問われる環境ですが、新機種を一番最初に扱えるという面白さは格別。たとえ問題があっても、自分の提案で改善できればやりがいにつながります。目標は社会に貢献できるような特許を取得すること！

修了生の活躍事例はこちらから ▶

電気
電子系

就職先

大倉工業株式会社
〒763-8508 香川県丸亀市中津町1515番地 TEL 0877-56-1111

地域の未来を、地域と育む

当社は、1947年の創立以来、ポリエチレンフィルムや建材、光学フィルムなど身近な製品はもちろんのこと、培ってきた技術を結集させてお客様ごとの要望に応じたオーダーメイド製品を提供してきました。時代のニーズに応え、「お客様とともに成長していくソリューション企業」を目指し、それぞれの領域の成長分野・用途へ、当社の技術を通じて貢献してまいります。

新規材料事業部 技術支援部 設備管理課

宮田 寛之 さん 応用課程生産電気システム技術科 令和3年度修了 (香川県立坂出工業高等学校出身)

電気制御の仕組みに興味があり、大学校時代に講師に誘われ、新規材料事業部の工場を見学しました。偏光フィルム製造時の薬液の量や温度を細かく制御する設備を見て「面白そうだな」と、在学中に電気関係の仕事に必要な第一種電気工事士の資格を取得しました。

入社してすぐに新規材料事業部に配属となり、設備管理課の一員として、工場の空調や電気設備の保守管理を担当しています。新規材料事業部では、主にスマートフォンやテレビのモニターなどに使われる光学フィルムを製造しています。工場には多くの設備があり、室内の温度や湿度の管理も徹底されているため、空調や機械に不具合があるとすぐに対応しなければなりません。製造工程において重要な役割を担っていることに誇りとやりがいを感じています。

現在は空調の保守点検をメインに行っていますが、工場にはさまざまな設備があり、毎日が勉強です。国家資格であるエネルギー管理士の資格を取得し、いずれは工場全体を管理できるようになりたいです。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



修了生インタビュー

電子
情報系

就職先

株式会社ブレックス
〒761-8032 香川県高松市鶴市町949番1号 TEL 087-882-6501

目指すは「完全自動化工場」 人手不足を技術で解決!

「省人化・省力化」「省スペース化・省エネ」など、リネンサプライ工場に有益なオリジナルの製品やシステムの開発を通じ、「完全自動化工場」の実現を目指しています。タオルやシーツ・病衣などの自動展開装置・折畳み装置は、国内リネン業界で高いシェアを維持しつづけています。

技術グループ 設計1担当

鐘推 将斗さん 専門課程電子情報技術科 令和元年度修了（香川県立坂出工業高等学校出身）

ものづくりが好きで高校は機械科でしたが、在学中にプログラミングに興味を持ち、学費が安く、専門的に学べる四国職業能力開発大学校に進学しました。大学校では電子情報技術科を専攻していましたが、就活で自分のやりたいことを考えた時に、「機械の設計がしたい」と気づき、県内で設計業務に携われる今の会社に就職しました。

当社はリネンサプライ・クリーニング関連機器の製造・販売、関連ソフトウェアの開発など行っている会社で、私は入社2年目からシーツの高速搬送機「ハヤブサⅡ」の開発チームに入り、現在は設計を行っています。自分が設計した図面が形になり、想定通りに稼働した瞬間や、お客さまが喜ぶ姿を見ると、エンジニアとしてのやりがいを感じます。今後はハヤブサⅡ以外の機械設計や開発に携わりたいですね。そのためには、今まで以上に勉強し、知識と技術を身に付けていきたいと考えています。

大学校の課程とは異なる分野に進みましたが、大学校で学んだものづくりの基礎は社会に出ても役に立っています。就職して6年目を迎え、最近では仕事を楽しめるようになっています。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



居住系



就職先

株式会社田中建設
〒767-0004 香川県三豊市高瀬町比地1389-1 TEL 0875-72-5021

心のこもった仕事で関わる全ての方々を幸せにする

当社は建築事業をはじめ、不動産事業、解体事業、土木事業と幅広い業務を行っております。四国の木を中心に地元香川の風土に合った温かくやすらぎのある住居の提供はもちろんのこと、建設業を通して地域のみな様がより豊かな暮らしになるよう木造建築のプロ集団として、日々尽力しております。

大工

高石 栞さん 専門課程住居環境科 令和3年度修了（高知県立高知工業高等学校出身）

インターンシップでお世話になったのが今の会社。社長をはじめ、社員の皆さんは全員優しく、家族的な雰囲気がとても心地良かったですね。インターンシップが終わる頃には、「就職するなら絶対にこの会社」と決めていました。今は毎日の仕事がとても楽しいです。

実家の急な階段を昇る祖父母を見て、住みやすい家を造りたいと思った事がきっかけで、大工に興味を持ち、工業高校の建築科に進学しました。CADを使った製図が楽しくなり、CADオペレーターを目指したこともあります。でも大学校に進み、実習でノミやノコギリを使って部材を切り、組み立てていく作業をしているうちに、「やっぱり体を動かす大工の仕事がいいな」と。今やらないと後悔するという気持ちもありました。

今は親方の下で、民間の戸建て住宅や寺仏閣などの建築に携わっています。親方の仕事は無駄な動きがなく、速くてしかも丁寧。学生時代に習っていない知識や技能も多く、「何でもできるの」と、いつも作業を見ながら勉強しています。目標は、尊敬する親方みたいな大工になること。技術とセンスを磨いて、お客さまに喜んでもらえる家を造りたいですね。

修了生の活躍事例はこちらから ▶

電子
情報系

就職先

株式会社百十四システムサービス
〒760-0050 高松市亀井町7番地の15 セントラル第一ビル7階
TEL 087-837-2200

歴史と信頼とソリューション力で地域の情報インフラを支えます

私たちは地元香川県を基盤として、お客さまに価値あるICTソリューション(情報通信技術を活用した問題・課題の解決策)を提供するシステムサービス会社です。百十四銀行のグループ企業として連携し、地域の公共機関や民間企業を対象とした数々のシステムを提供しています。営業戦略支援や業務効率化に貢献し、香川全体の活性化を強く後押しします。

システム開発部

宮崎 知道さん 応用課程生産電子情報システム技術科 令和5年度修了（香川県立高松桜井高等学校出身）

高校は普通科でしたが、情報処理関係の仕事に興味があることを先生に相談したところ、専門的なことを実践的に学べる四国職業能力開発大学校を紹介してくれました。入学当初はキーボードもまともに打てませんでしたが、友人に教えてもらいながら徐々に上達しました。プログラミングの知識も身に付け、ロボットコンテストにも出場。在学中は何事も「やりきる」ことの大切さを学び、就職活動の面接では、大学校時代の実績として話すことができました。

「地元企業に就職して、地域に貢献したい」という念願がかない、今の会社に就職。現在は、業務効率化を図るためのシステム構築や、既存システムのメンテナンスなどを担当しています。これまで使ったことのないソフトもあり、覚えることが多いですね。毎日上司や先輩の指導を仰ぎながら、知識と技能の習得に励んでいます。

今は基礎をしっかりと身に付ける時期。仕事で知識と経験を積みながら、基本情報技術者の資格取得を目指して勉強しています。将来的には社外のシステム開発に携わり、地元で貢献していきたいです。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



Q1. 内定を獲得できた一番の要因は何だと思いますか？

Q2. 面接や選考で特に意識したことはありますか？

Q3. 就職活動で心掛けたことや工夫したことは？

Q4. 説明会やインターンシップにはどのように参加しましたか？

Q5. 大学で過ごすうえで意識したことは？

Q6. 就職活動を始める後輩へのアドバイスは？

内定者インタビュー

機械系



就職先

株式会社タダノ

宮崎 海星さん 応用課程 生産機械システム技術科 令和7年度修了 (香川県立高松東高等学校)

Q1. 毎週、先生にエントリーシートや面接練習を見てもらったことだと思います。特に私の内定先の面接では主にエントリーシートからの質問が多かったため、エントリーシートを書き込んでおくことでスムーズに受け答えすることができました。

Q2. エントリーシートの内容をしっかり覚えておくことです。エントリーシートに書かなかった具体的なエピソードなどを聞かれても大丈夫なようにエントリーシートの内容は完璧に答えられるようにしました。

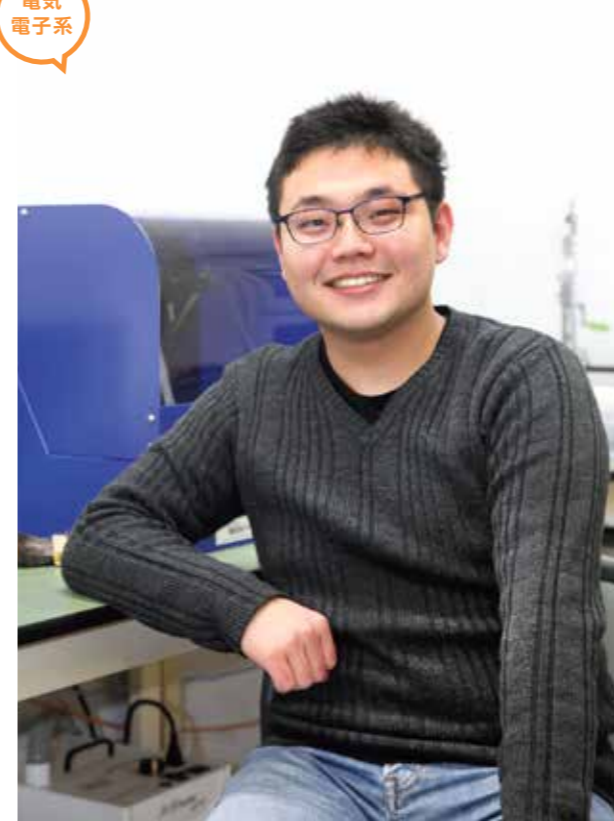
Q3. やりたいことを見失わないように自己分析を行うことです。エントリーシートを考えているときに自分が何をやりたいのか迷走することがあったので、そのたびに自己分析をしてやりたいことを見直すようにしていました。

Q4. やりたい職種・業界・勤務地などで行ってみたいと思う企業を探して企業のマイページから説明会などに参加しました。

Q5. 授業を受けていく中で自分の得意なことを見つけて頑張ることです。何か一つでも頑張っておけば職種を選ぶ際や面接で聞かれた際に詳しく話すことができると思います。

Q6. インターンシップでは積極的に質問等をして、相手企業に印象が残るようにすると思います。エントリーシートは何度も先生に添削してもらい内容をブラッシュアップすると思います。

修了生の活躍事例はこちらから ▶

電気
電子系

就職先

J-POWERジェネレーションサービス株式会社

松本 佳樹さん 応用課程 生産電気システム技術科 令和7年度修了 (香川県立津田高等学校)

Q1. 面接官の方々と問題なくコミュニケーションをとる事が出来たことだと考えています。面接官から投げかけられた質問にしっかり且つ端的に答えお互いにズレのない会話が出来ていたように思う。また、エントリーシートに書いた内容一辺倒ではなく、話したい内容を自分の言葉で相手に伝える事が出来た。

Q2. 面接は緊張してしまうため、話が詰まっても問題がないと思えます。しかし、面接会場の入退場や椅子の座り方等は「普段の自分」が何気なく出てしまうものです。そのため、面接では普段の生活以上に一挙一動を意識し、細かな所作でも失礼の無いように努めていました。

Q3. 企業の方から送られてくるメールやアンケート等の返信です。説明会やインターンシップでは対面で直接会話するので互いの認知のズレ等を適宜確認しつつコミュニケーションを取ることが出来ます。しかし、メールやアンケートではお互いに文面に頼る形になります。返信の際には誤字・脱字の確認から敬語の使い方等の細部まで気を遣いました。

Q4. リクナビやマイナビといったサイトを利用しました。また、一部企業はマイナビ等での登録後マイページURLが個人メールに送信され企業が作成したマイページで直接やり取りを行いました。マイページ内から各種イベントの連絡なども届きます。

Q5. 意識したことは資格取得です。勿論、何も資格を取らずとも就職活動に大きな問題はありません。しかし、面接だけでは自分の実践的な能力を相手に伝える術がありません。そこで、資格取得さえしておけば、「資格」という形で自分の能力を証明できるのです。

Q6. 就職活動の早期化が非常に進み、早い人であれば大学3年の年明け前には内定を獲得している人もいます。ですが、焦らず自分の目標としている企業を目指してください。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



機械系



就職先

株式会社HTメタルテック

市村 奏明さん 専門課程 生産機械技術科 令和7年度修了 (徳島県立城西高等学校)

Q1. 会社のことをしっかり調べて面接で答えられるようにしました。

Q2. 自己分析をして自分のことを理解しておくことを心がけ、質問に対して適切に答えられるようにしました。

Q3. 自分に合った企業を見つけるために、働きたい条件や自分の特技を生かせる仕事内容などを考えました。

Q4. 先生と相談し勧められた企業や自分でネットで調べて見つけました。

Q5. 課題がたまるないように早めに取り掛かること。製作する上で分からないところが出てきたらそのままにせず、すぐに聞くようにしました。

Q6. 自分の働きたい条件などをしっかり考え、早めに行動することが必要だと思います。

修了生の活躍事例はこちらから ▶

電子
情報系

就職先

株式会社STNet

大日 陽菜さん 応用課程 生産電子情報システム技術科 令和7年度修了 (徳島県立藍町高等学校)

Q1. 内定を獲得できた一番の要因は、大学で学んだ内容を活かして取り組んできた経験を、自信を持って話せたことだと思います。学びと実践を結びつけて取り組んだエピソードを具体的に伝えることで、自分の強みをしっかりアピールできました。

Q2. 相手の目を見て、しっかりと話を聞きながら相づちを打ち、自分の考えを伝えることを意識していました。

Q3. 少しでも興味を持った企業の説明会には積極的に参加しました。また、人前で話すことが得意ではなかったため、第一志望より先に選考が始まる企業を受け、面接に慣れるための練習として活用しました。

Q4. 内定先の企業には、オンライン説明会とワンディインターンシップに参加しました。特に印象に残っているのは、社員同士の会話の様子です。上司と部下という関係であっても、フランクに意見を交わっていて、意見を言いやすい雰囲気のある会社だと感じました。

Q5. 興味を持ったことには積極的に挑戦することを心掛けていました。その中でも特にネットワーク分野に興味があったため、関連する大会に出場し、知識を深める経験をしました。

Q6. 気になる企業の説明会には積極的に参加してほしいです。また、面接が不安な場合は第一志望より前にいくつか受けて慣れておく、自信を持って本番に臨めると思います。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



Q1. 内定を獲得できた一番の要因は何だと思いますか？

Q4. 説明会やインターンシップにはどのように参加しましたか？

Q2. 面接や選考で特に意識したことはありますか？

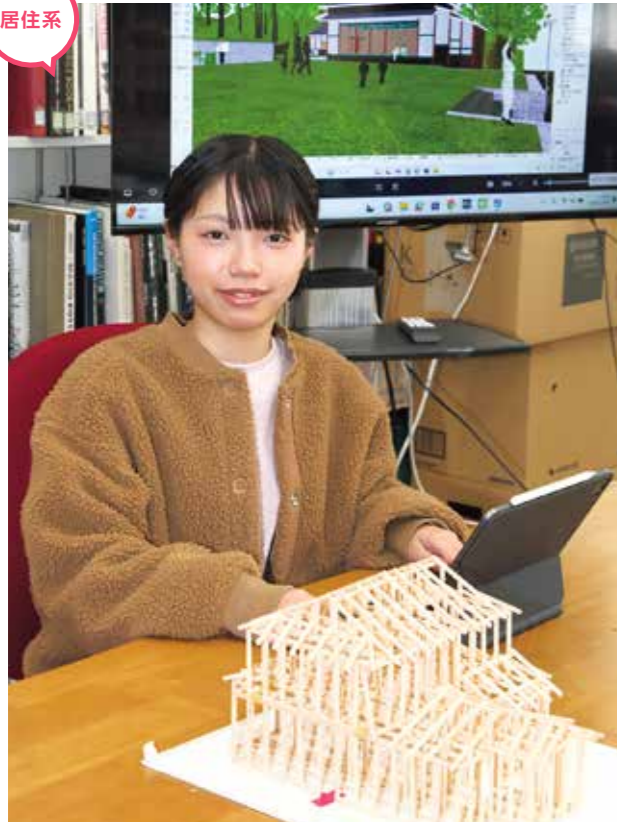
Q5. 大学で過ごすうえで意識したことは？

Q3. 就職活動で心掛けたことや工夫したことは？

Q6. 就職活動を始める後輩へのアドバイスは？

内定者・進学者インタビュー

居住系



就職先

四国旅客鉄道株式会社

山地 ひよりさん 専門課程 住居環境科 令和7年度修了 (香川県立多度津高等学校)

Q1. 一つ目に会社説明会に積極的に参加したこと。二つ目にJR四国の場合、グループ会社が多数あり、会社説明会で様々な仕事や会社の存在を知ることができたこと。会社の求める人材と私自身が取り組みたいことが合致したので内定に繋げることができました。

Q2. 自分の挑戦したいことを明確にし、適切に伝えること。そして、その内容が会社の業務内容に合致していることです。

Q3. 大企業の会社説明会に参加することで、グループ会社の存在も知ることができました。

Q5. 建築設計の授業で、設計案に対し合格の評価をいただいたときは嬉しかったです。今後は有資格者を目指し、自己研鑽に努めます。

Q6. 1. 会社説明会に積極的に参加することだと思います。すると応募する会社が否かの判断基準が明確になってきます。
2. とにかく行動力が大事です。行動することで感じるがあります。
3. 行動すると手段と未来が見えてきます。
4. 自分で判断することが重要だと感じます。
5. 早く内定を取ることで私生活や学業にゆとりができます。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



電子情報系



進学先

四国能開大 応用課程 生産電子情報システム技術科

松田 惇也さん 専門課程 電子情報技術科 令和7年度修了 (徳島県立徳島科学技術高等学校)

Q1. 応用課程への進学を考え始めたタイミングは？

専門課程2年次から高度な実習に取り組みようになり、1年次から習得してきた技術や知識が繋がって組み込み機器を動かす面白さを知り、もっと深い知識を習得したいと感じ始めました。「もっと学んで強くなりたい」という気持ちが芽生え、応用課程への進学を意識するようになりました。

Q2. 応用課程に進学を決めた理由は？

生産電子情報システム技術科では、IoTや生産システム、ネットワーク制御など、実際の現場で役立つ幅広い技術を学べるところに魅力を感じました。基礎をもっと確かなものにしたいという思いがあり、専門課程で学んできた電子回路・組み込み・通信の知識を、より実践的に活かせるレベルまで高めたいと考え、進学を決めました。

Q3. 就職と迷わなかったのか？

自分にはまだ学ぶべきことが多いと感じており、このまま社会に出るより、しっかり技術を身につけてから挑戦したいと思い、応用課程でさらに学びを深めることで、自分の目指すエンジニア像に近づけると考え、迷いなく進学を選びました。

Q4. 大学で学んだことをどのように活かしたいですか？

これまで学んだ電子回路設計、マイコン制御、ネットワーク、プログラミングを基礎として、生産ラインの自動化や効率化に関わるシステム開発に携わりたいと考えています。応用課程では、より実践的なシステム設計やデータ解析を学べるので、現場の課題を技術で解決できるエンジニアを目指し、これまで以上に努力していきたいです。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



電気電子系



進学先

四国能開大 応用課程 生産電気システム技術科

林 健太郎さん 専門課程 電気エネルギー制御科 令和7年度修了 (高知県立高知工業高等学校)

Q1. 応用課程への進学を考え始めたタイミングは？

進学を意識し始めたのは2年生になった頃です。専門課程で学んだ内容をさらに深めたいという気持ちが芽生えました。

Q2. 応用課程に進学を決めた理由は？

クラスの仲間の多くが進学を希望していたこともありましたが、何より自分自身ももっと技術を身につけたいという思いが強かったので、迷わず進学を決めました。

Q3. 就職と迷わなかったのか？

就職という選択肢もありましたが、現場で即戦力となるためには、より高度な知識と技術が必要だと感じていました。だからこそ、迷わず応用課程への進学を選びました。

Q4. 大学で学んだことをどのように活かしたいですか？

これまで学んだシーケンス制御やロボット制御の知識を、将来は生産設備の技術者として活かしたいと考えています。応用課程でさらに専門性を高め、現場で頼られる技術者を目指します。

修了生の活躍事例はこちらから ▶



[専門課程]から[応用課程]に進学すると

「テクノインストラクター」への道も

テクノインストラクターとは？

公的職業訓練施設等で受講者に対して、技能・技術の指導によるスキルアップの支援やキャリアコンサルティングによる就職支援を行う、法律(職業能力開発促進法)に基づく「専門職」です。都道府県、高齢・障害・求職者雇用支援機構が設置・運営する公共職業能力開発施設で活躍しています。



高岸 剛さん

応用課程 生産機械システム技術科
令和7年度修了予定 (高知県立高岡高等学校)

Q1. テクノインストラクターを目指したきっかけは？

高校生の時に先生の働き方を見て楽しそうだと思い、私も人に教える職業に就きたいと考え、自分の好きな物づくりの分野を教えたいと思い目指しました。

Q2. 企業の就職と悩んだか？

専門の時のインターンシップの時にいった企業の会長様と社長様からオファーをもらった際に悩みましたが応用に進学してまだいろんな分野の仕事を見てみたいと考え進学という道に進みました。

Q3. テクノインストラクターになるためいつごろから就職活動をしていたか？

就活を積極的に始めたのは応用1年の冬頃です。

Q4. 説明会やインターンシップにはどのように参加しましたか？

担任の先生に説明会やインターンシップに参加したいという意志を伝え、説明会の際に四国能開大に本部から来てくださった方に個別で説明会の時間を設けてもらったりしました。

Q5. テクノインストラクターを目指すためにどのような就職活動をしたか？

企業研究やインターンシップに参加してどのような業務、雰囲気なのかを実際に見学しに行き、試験対策では面接練習や簡単な模擬授業などを反復練習しました。

Q6. 就職活動を始める後輩へのアドバイスは？

自己分析を徹底し、情報収集と行動を積極的に行い、周りを気にせず無理なく自分のペースで自分らしく頑張ろう！

CAMPUS EVENT

主な年間スケジュール



4月 ■入校式 ■入校ガイダンス	10月 ■ものづくりフェスタ ■大秋祭
5月 ■応用課程推薦入校試験 (対象: 専門課程2年生) ■個別面談会 (対象: 専門課程2年生・応用課程4年生)	11月 ■個別面談会 (対象: 専門課程1年生・応用課程3年生) ■企業懇談会 (対象: 専門課程1年生・応用課程3年生)
6月 ■オープンキャンパス	12月 ■授業見学会 ■冬期休暇
7月 ■応用課程一般入校試験 (対象: 専門課程2年生) ■オープンキャンパス	1月 ■オープンキャンパス ■夏期休暇
8月 ■オープンキャンパス ■夏期休暇	2月 ■ポリテックビジョン
9月 ■受験前説明会	3月 ■修了式 ■春期休暇



大秋祭

大秋祭は、学生自治会が主催する大学校祭で、屋台やビンゴ大会など、さまざまな催しを行っています。大学校関係者はもちろん、地域の皆さまにも毎年楽しんでいただいているイベントです。



ポリテックビジョン

ポリテックビジョンとは、専門課程2年生では総合制作実習、応用課程4年生では、開発課題で制作した作品について発表及び展示することで、日ごろの学習成果を紹介する催事です。



CAMPUS MAP

キャンパスマップ

キャンパス内には学生ホールや食堂、体育館などの施設が充実しています。体育館の裏側には広い駐車場も完備しているので車やバイク、自転車通学にも便利です。



本館棟

本館には、学生生活に関する手続きなどを行う学務課や学生寮の手続きを行う総務などの事務所があります。学務課では、学生生活に必要な各種申請書の提出や就職相談なども可能です。3階には住居環境科が使用する教室があります。



第1実習棟

機械系が使用する教室と実習設備があります。



第3実習棟

住居環境科が使用する教室と実習設備があります。



応用棟

電気電子系と電子情報系が使用する教室と実習設備があります。



学生ホール・食堂

飲食をしたり、雑談などコミュニケーションをはかる場所です。

安くて美味しい人気のランチ!



体育館

体育の授業で使うほか、訓練終了後に自由に使用することができます。また、フットサル、バレーボールなどのサークル活動でも使用されています。



AREA MAP

アクセス充実・生活便利、周辺マップ



いろいろな飲食店や
ドラッグストアも
充実しているから
安心!



やすはらクリニック

専門的な検査機器の充実と院長先生の専門性において信頼性の高いクリニックです。



こがね製麺所 丸亀本店

コシのある麺に風味豊かな黄金出汁。安くて早くて美味しい。朝7時からの営業。



ほっともつと 郡家町店

ボリュームで家族連れから学生まで大満足。のり弁当やから揚げ弁当が人気です。



焼肉ぼうず

上カルビやハラミが人気の焼肉店。サイドメニューも充実の落ち着いた雰囲気のお店。



パン屋 ゆうぱん

食パン、クリームパンが美味しいと人気。ボリュームのあるバーガー類も学生に好評。



定食とごはん 猫のひと口

昼は定食、夜は居酒屋。とんかつ定食屋やチキン南蛮定食など老若男女問わず人気です。



お菓子とパンとお茶 felice

アットホームな雰囲気の中で、自家製パンと旬のフルーツを使ったスイーツを楽しめます。



コープかがわ コープ郡家

心を込めて楽しい食卓応援! 店舗内には人気のパン屋「BAKESHOPゲルン」もあります。



四国職業能力開発大学校 正面入口



学費・寮費

入校時に必要な経費について

授業料等 (2025年実績)

入校料

●専門課程入校料
169,200円

●応用課程入校料
112,800円

授業料

年間 **390,000円**

※授業料につきましては、前期・後期それぞれ195,000円を、2回に分けてご納入いただけます。
※入校料・授業料の延納・分納制度もございます。

その他必要となるもの (2025年実績)

- 職業訓練総合保険 **15,850円**(2年間分)
- 同窓会費 **5,000円**(入校時のみ)
- 自治会費 **10,000円**(2年間分)
- 教科書・実習服など ※科によって異なります

授業料等減免制度

本制度は、学生及び保護者の経済状況、成績に応じて、入校料及び授業料を減免する制度です。減免額は、「全額免除」、「3分の2免除」、「3分の1免除」です。4月と10月の各半期ごとに申請を受け付け、書類審査のうえ、免除の可否や額を決定します。申請は入校後になります。

融資制度

技能者育成資金融資制度

技能者育成資金融資制度は、優れた技能者を育成するための一助として設けられた制度です。職業能力開発大学校などに在籍し、成績が優秀であり、経済的な理由から職業訓練の継続が難しい18歳以上の学生を対象に、訓練に必要な資金を労働金庫から年利2%で借りることができます。

- 自宅通校生 **600,000円**(年間)
- 自宅外通校生 **690,000円**(年間)

その他の融資制度

日本政策金融公庫による「国の教育ローン」などがあります。利用者にあたっては、必ず詳細を確認ください。

入寮の際は、通学状況や保護者等の年収等を踏まえて入寮選考を行います。入居年数：2年間です。専門課程時に入寮している場合でも、応用課程に進学する際に再度入寮選考を行います。その結果により、応用課程時は入寮できない場合がありますのでご注意ください。

わかば寮

寮費

年間 **192,000円** (2025年実績) ※4月と10月に96,000円ずつ徴収されます。

寄宿舍使用料	4,700円	共益費	11,000円
備品更新積立金	300円	食費	月約 36,580円(日額1,180円)
電気代	実費	ハウスクリーニング代	7,700円(退寮時)

- 食堂
食事提供時間
朝/8時~8時50分 ※休日・祝日は9時まで
昼/12時~13時10分
夜/17時~18時30分
(欠食する場合は、1日単位)
- ランドリー(共用)
洗濯機・乾燥機完備
※洗剤につきましては、各自でご準備をお願いいたします。
- 浴室(共用)
利用可能時間/17時30分~21時30分
※21時30分以降、日曜日はシャワーのみの利用となります。

●部屋のイメージ(一例)



●部屋の備品: ベッド、マットレス、机、椅子、棚、ロッカー、エアコン、カーテン
※各室ネット環境がありますが、個人でネットを契約する必要があります。15:30~9:30まで寮舎監が駐在しています。

入試情報

令和9年度入校者募集定員

生産機械技術科

25名

電気エネルギー制御科

20名

電子情報技術科

20名

住居環境科

20名

令和9年度 専門課程入校者選考日程一覧

入試種別	特別推薦入校試験 一般推薦入校試験	自己推薦入校試験 [専願] 社会人推薦入校試験 A日程	自己推薦入校試験 [併願]A日程	一般入校試験	自己推薦入校試験 [併願]B日程 社会人推薦入校試験 B日程
出願開始日 (9:00)	令和8年 10月1日(木)	令和8年 10月27日(火)	令和8年 11月18日(水)	令和9年 1月12日(火)	令和9年 2月22日(月)
出願締切日 (15:00)	令和8年 10月8日(木)	令和8年 11月5日(木)	令和8年 11月27日(金)	令和9年 2月3日(水)	令和9年 3月1日(月)
試験日	令和8年 10月18日(日)	令和8年 11月15日(日)	令和8年 12月6日(日)	令和9年 2月10日(水)	令和9年 3月10日(水)
試験会場	四国職業能力開発 大学校	四国職業能力開発 大学校	四国職業能力開発 大学校	四国職業能力開発 大学校 愛媛県会場 高知県会場 徳島県会場	四国職業能力開発 大学校
合格発表日 (10:00)	令和8年 10月29日(木)	令和8年 11月25日(水)	令和8年 12月18日(金)	令和9年 2月22日(月)	令和9年 3月12日(金)
選考方法	特推:面接 一般推:数学I、面接	数学I、面接	数学I、面接	数学I、 英語コミュニ ケーションI	数学I、面接

※ 過去問題集については、オープンキャンパス等参加者へ配付しています。
また、四国能開大ホームページからも資料請求できます。

専門課程 特別推薦入校試験[専願]

特 色

当校から指定した高等学校長の推薦を得て出願する入試です。

出願資格

高等学校等を卒業見込みで、評定平均値3.5以上(電子情報技術科は評定平均値4.0以上)、実績等により
出身高等学校長の推薦を得ることのできる者。

※在籍校にお問い合わせください。

専門課程 一般推薦入校試験[専願]

特 色

高等学校長の推薦を得て出願する入試です。

出願資格

高等学校卒業見込みで、評定平均3.0以上、実績等により出身高等学校長の推薦を得ることのできる者。

専門課程 自己推薦入校試験[専願]

専門課程 自己推薦入校試験[併願]A日程

専門課程 自己推薦入校試験[併願]B日程

特 色

入校への目的意識の高さや自己の個性をアピールする入試方法です。

出願資格

高等学校(中等教育学校を含む)を卒業(見込み)若しくは、高卒程度認定試験に合格(見込み)の者。

専門課程 社会人推薦入校試験A日程

専門課程 社会人推薦入校試験B日程

特 色

入校への目的意識の高さや自己の個性をアピールする入試方法です。

出願資格

就業経験のある者かつ高等学校(中等教育学校を含む)等を卒業(見込み)若しくは、高卒程度認定試験に
合格(見込み)の者。

専門課程 一般入校試験[併願]

特 色

本大学校独自の試験を課して、その結果により選抜する入試です。

出願資格

高等学校(中等教育学校を含む)を卒業(見込み)若しくは、高卒程度認定試験に合格の者。

無料の
学食体験!

丸亀駅
からの
送迎無料!

オープンキャンパス開催

OPEN CAMPUS

●オープンキャンパス開催日

2026

6.7 SUN 7.11 SAT 7.26 SUN 8.30 SUN

募集科 専門課程：生産機械技術科／電気エネルギー制御科／電子情報技術科／住居環境科

午前のキャンパスツアーから参加される場合

- 9:30-10:00 受付
 - 10:00-10:30 全体ガイダンス
 - 10:40-11:55 キャンパスツアー
 - 12:00-12:50 昼休憩
 - 13:00-14:10 体験実習①
 - 14:20-15:30 体験実習②
 - 15:40- 学生寮見学 ※希望者のみ
- ※7月26日開催分のみ学生交流会となります。

午後の体験実習から参加される場合

- 11:30-12:10 受付
 - 12:20-12:50 全体ガイダンス
 - 13:00-14:10 体験実習①
 - 14:20-15:30 体験実習②
 - 15:40- 学生寮見学 ※希望者のみ
- ※7月26日開催分のみ学生交流会となります。

参加申し込みは申し込みフォーム<外部リンク>よりお願いします。

※複数回参加を希望される場合は希望日ごとの参加申し込みをお願いします。

※無料の学食体験を希望される方は、早めのお申し込みをお願いします。



厚生労働省所管

四国職業能力開発大学校 学務課 TEL(0877)24-6255

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町3202番地 FAX(0877)24-6291

<https://www3.jeed.go.jp/kagawa/college/>

四国能開大

検索

四国職業能力開発大学校について教えて! Q&A

入校するにあたってみなさんが具体的に聞きたい内容をQ&Aにまとめました。

Q 他の大学との違いを教えてください

A 文部科学省の所管以外で、法律に特別な規定がある大学を「省庁大学校」といいます。本大学校は、厚生労働省が所管する国が設置した省庁大学校で、職業能力開発促進法に基づき専門的な技能・技術を兼ね備えたエンジニアを育成することを目的として設置されています。文部科学省が所管する一般大学とは異なるため、学位は授与されませんが、人事院規則等では、公務員試験(一部)や公務員としての採用時の待遇において、専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年制大学卒として扱っていると記載されています。なお、当校に求人をしていただく民間企業においても、基本的には同等の扱いとなっています。

Q 授業時間はどれくらいですか?

A 1時限の授業時間は100分です。1日に4時限あり、月曜日から金曜日までの週5日制です。1時限目は8時50分から始まり、4時限目の終了は16時30分です。

Q 授業はどのように進むのですか?

A 1科の定員は20名~30名の少人数で、学生の習得度を確認しながら、基礎から応用まで確実にスキルアップできるようにカリキュラムを設定しています。

Q 専門課程と応用課程の違いを教えてください

A 専門課程(2年)は、基礎的な技能・技術から専門分野に必要な技能・技術までを体系的に習得する課程で、自らのづくりができる実践的な能力を身につけることができます。応用課程(2年)は、高度な技能・技術や、ものづくりに関わる企画・開発する能力を身につけて、産業界で必要とされる生産現場のリーダーとしての能力を身につけることができます。



キャンパスライフについて

Q 奨学金制度はありますか?

A 技能者育成資金融資制度があり、要件を満たした学生について貸与が行われます。また授業料減免等の措置(要件あり)もあります。なお、日本学生支援機構の奨学金制度は利用できません。

Q アルバイトは可能ですか?

A 放課後や土日の休日など、学業に支障のない範囲においてアルバイトをすることは可能です。

Q 自動車・バイクの通学は可能ですか?

A 駐車場・駐輪場を完備しています。申請により、自動車・バイクで通学することは可能です。

Q 大学校生活や授業への不安が生じた場合、相談できる場所がありますか?

A 各科の担任や学生相談室(週1回放課後/予約制)のカウンセラー(臨床心理士)に相談することができます。

Q クラブ活動はありますか?

A 現在、サークルとしてフットサル、バレーボール、資格取得に向けたサークルなどがあり、放課後に積極的に活動しています。

就職について

Q 就職時の学歴区分はどうなっていますか?

A 内閣府の人事院規則における学歴区分では、公務員試験や待遇において専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年生大学卒として扱われます。また民間企業の求人でも基本的に同等の扱いとなっています。

Q 就職支援はどのように行っていますか?

A 入校後直後から、各科の担任と就職支援アドバイザーが連携して、学生の就職支援にあたります。当大学校の修了生の技能・技術は企業からも高く評価されており、毎年数多くの求人をいただいています。